

初夏の穏やか日に 偕楽園公園

黒羽和之

水戸偕楽園公園オリエンテーリング大会 2013年5月19日 茨城県水戸市

日本三名園で知られる偕楽園を舞台に行われる大会も今年で、5年目を迎えました。おかげさまで、今回は40名を超える参加者がありました。ありがとうございます。

準備は1ヶ月前から

最近では、毎年、5月に開催することが定着した偕楽園公園オリエンテーリング大会も今年で、5年目。準備は、4月中旬の土曜日からの一人での地図調査で始まりました。今回は、グループと初級者には、公園の見処を楽しんでもらうようなコース、中上級者には、これまでにない、高度なコースをテーマとしました。

例年では、経年変化による地図修正のための現地確認で済ませるのですが、テーマにもあるように、楽しみを増やすために、新たな地区の開拓を行いました。

偕楽園公園って？

偕楽園公園は、偕楽園とその南側に広がる梅林や広場からなります。偕楽園には、梅林以外にも、広場、遊歩道そして、山林があります。そして、南側に広がる梅林は、四季の原といった原っぱや、池、川、湿地などがあり、市民の憩いの場となっています。テレ

インは、さらに、隣接する護国神社と少年の森を加えた範囲となっています。



偕楽園から見た四季の原

コースプラン

偕楽園大会のテレインは、常磐線と主要道路で大きく4つに分断されていますが、それぞれが歩道橋やトンネルで連絡されると言う構造になっています。コースプランは、この分断された各テレインを、ぐるっと回って、繋いで行くと云う流れになります。そして、アップダウンも10mそこそこ、コントロール設置する場所も限られていおり、ルート選択のバリエーションは2つあれば良い方です。従って、初級者、グループにとっては、とても楽しめる場所であるように思います。一方、中上級者にとっては、やや物足りなさがありますが、その分、距離を伸ばして、走力と少しのミスが勝敗を分けるように工夫を凝らしているつもりです。今回、新しく加えた西の谷もその一貫です。そして、全てのコースにこの新テ

レインを通過するようにしたため、ちよっと予想外の距離になりました。

グループC	3.3Km
グループB,初級者	4.3Km
グループA,中級者	5.5Km
上級者	6.1Km

茨城大学も協力

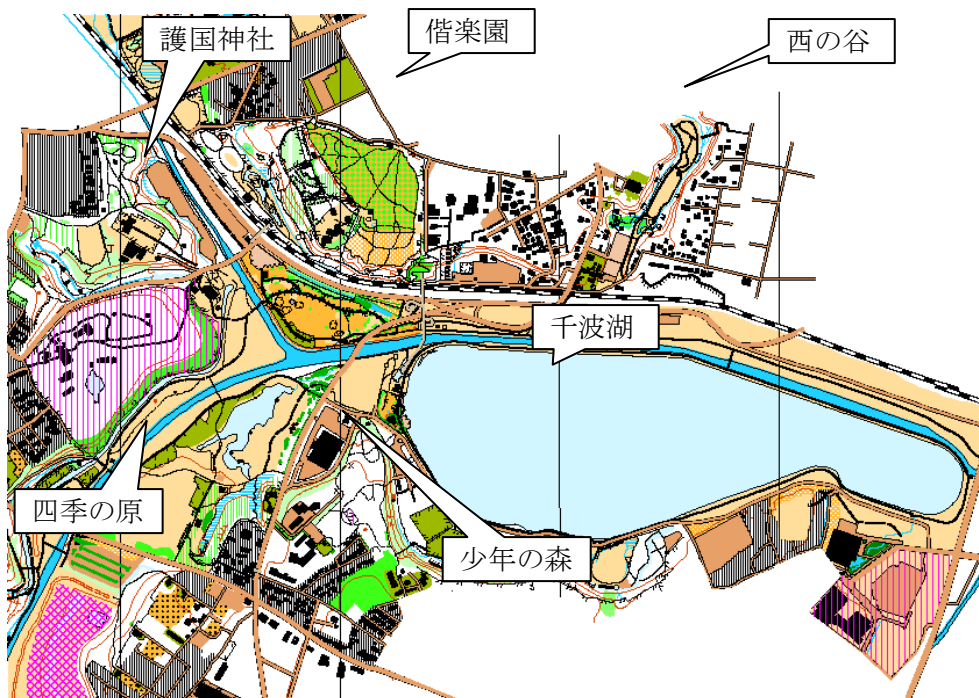
公園とは言え、近隣の千波湖や護国神社を加えると、歩いて回るのに2、3時間はかかります。平均年齢が上がるばかりで、急激に体力が落ちてきた会員にとって、前日までの現地調査はできても、時間内にコントロール設置するのは、至難な技であり、長年の課題です。そこで、水戸市内に在住する茨城大学に、当日のコントロール設置・試走・撤収や、地図調査を支援して貰っています。この関係は、3年前に、大会運営の経験や、大会開催の周知を目的として始まりました。この試みは、偕楽園以外の水戸市内の大会においても行なっています。将来的には、茨城大の年間行事の一つになって貰えればと、願っています。

参加者は半分以上が常連

インターネットにより大会要項が告知できるようになる前は、要項を紙に印刷して、過去の参加者に郵送したり、市役所、近隣の公民館や、体育館に置くのが、もっぱらの開催告知手段でした。これは、運営が出来る会員は居ても、大会参加する会員は皆無なので、他の大会での要項配布や告知が出来ない為です。このため、毎回、参加者の半分以上が県内のリピータとなっています。インターネットで開催告知ができるようになってからは、その効果により、県外からの参加者が来るようになりましたが、リピータの状況は変わりません。なぜ、リピータがこれほどいるのか理由は、良くわかりませんが、何かしらの魅力(参加費に見合う内容とか、運営者が頑張っている姿がよく分かるとか)が有るからと勝手に解釈しています。その魅力は、大会に参加すればわかるかもしれません。

開会式は必要？

競技形式がポイントの場合、開会式を行う大会は皆無です。自分が初めて参加した、東日本大会(ス



スタート時刻指定なし、参加費(¥500)当日払い)の時でさえなかったと記憶しています。

開会式は、受付時間終了後から競技開始の間に実施されることから、参加者は必然的に出席する事になります。内容は、会長挨拶、競技説明、注意事項等で、殆どの大会では、プログラムや公式掲示板で告知している事柄です。来賓の挨拶、優勝杯返還、告知等、特別な事をやる訳でもないのですが、やらなくとも事足りるのですが、決まりらしく、いつも、慌ただしく始まります。何となくですが、これがあると、よし、行くぞ!というように、運営者の気が引き締まるので、あったほうが良いと思っています。まあ、内容は、もう少し、練っても良いかなと思います。

初めてのハプニング

偕楽園大会は、いつも青空会場です。今年も、暑くもなく寒くもなく、雨が降ることもなく、参加者、運営者共にとても過ごしやすい一日でした。また、準備期間中も、雨が降ることもなく、順調に進み、大会前日にはパンチ台の確認と地図の印刷が完了しました。

当日は、7:30頃に集合して準備を始めます。コントロール設置以外は、役割分担を決めていないのですが、各自

が役割を把握しているためか、これしかできないと決め付けているためか、淡々と行われ、予定通りに準備完了し、受付が始まります。そして、コントロール設置完了と試走開始を残すのみとなった時に、大会史上初めての事件が起きました。なんと、地図の一部の箇所の不具合が生じていたのです。一週間前迄は完璧な箇所だったのですが…さて、どうやってこの事態を乗り切るか、残された時間は僅かしかありません。スタート時間をずらして、地図を修正するか、コースを変更するか二つに一つです。結果は、地図修正を行うことと決め、影響するクラスのスタート時間を30分ずらして、なんとか、全員のスタートを完了させることが出来ました。この決断については、どちらかと言うと運営者の都合による面が多く、参加者への配慮が足りない面があったかと思ひ、深謝する次第です。

表彰式

スタートが完了し、少しホットしていると、参加者がゴールをし始めます。ゴールでは、ドリンクとどら焼き(早いもの勝ち)のサービスがあります。そして、早めにゴールしてしまった人達が、待つのもそろそろ限界に達する昼頃、クラス順位が確定し、順次、表彰状の授与が始まります。

一応、クラス毎に行いますが、参加者の状態により、当日クラスができません。例えば、上級者女子とか。また、原則、3位までですが、状況により、それ以外の授与をすることもあります。ある意味、適当というところでしょうか。

茨城県内の大会

茨城県内の県協会と名がつく大会は、全て支部単位の単独開催という、他では例のない体制で行なっています。支部は3つあり、各支部は年間3大会開いています。従って、茨城県内では、最低でも9大会が開催されていることとなります。何れも、初心者向けのアウトホームな大会になっていますが、経験者も楽しめる筈です。今年度の予定は、次の通りになっています。

- 2013/08/18 洞峰公園ほか
- 2013/11/10 水戸市森林公園
- 2013/11/17 常陸風土記の丘
- 2014/01/26 大和中央公民館
- 2014/02/02 七つ洞公園
- 2014/03/02 八郷総合運動公園

さあ、皆で出掛けよう。茨城へ。

(黒羽和之)

